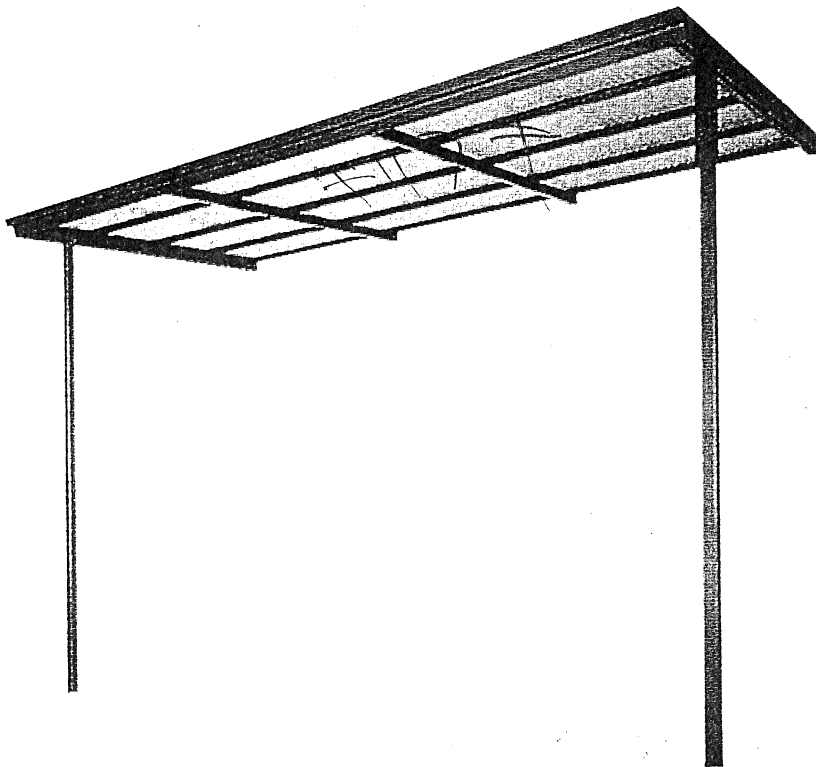


# 組立説明書

商品名 FKテラス



- このたびはお買い上げくださいますて誠にありがとうございます。
- 正しく組立を行っていただくため必ず本書を読み、よく理解して下さい。

# 目次

■商品名	..... 1	■標準タイプの組立	..... 6~9
■組立前に必要な準備	..... 2	■連棟タイプの組立	..... 9~12
■基本寸法	..... 2		
■組立上の注意事項	..... 3		
■梱包明細	..... 4		
■部品明細	..... 4~5		
■各部名称	..... 5		

## 組立前に必要な準備

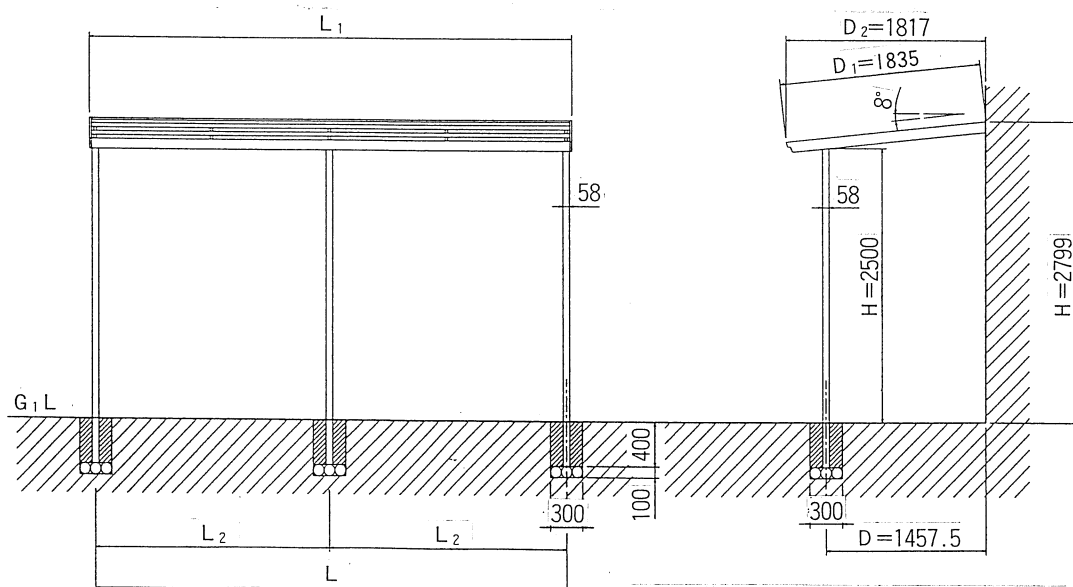
### 工具

- スケール、水平器
- スコップ、つるはし
- カッターナイフ
- 充電ドライバー、⊕ドライバー
- 切断機、弓ノコ
- コーキングガン、ヘラ

### 資材

- セメント
- 砂
- グリ石

## 基本寸法

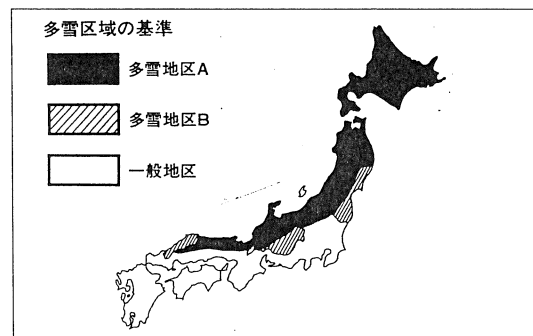


ブロンズ	L	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>
FK-1.5SC	2617	2700	—
FK-2.0SC	3517	3600	—
FK-2.5SC	4417	4500	2208.5

※2.5SCのみ3本柱

## 組立上の注意事項

- 1 本製品は一般地区用です。  
□の部分で使用下さい。



- 2 本製品の組立は組立説明書に従い、みだりに改造、変更をしないで下さい。
- 3 落雪の恐れのある場所や条件の悪い場所（風の通り路等）への設置はしないで下さい。  
落雪の恐れのある場所へ取付ける場合は屋根の雪止工事を必ず行って下さい。
- 4 本製品は木造住宅の二階部以下に取付ける設計です。  
3階以上に使用しないで下さい。
- 5 本体と躯体を連結するコーチスクリューは指定本数を使用し、柱等に確実に固定して下さい。
- 6 基礎は指定の大きさで必ずアンカー棒を取付けコンクリートで固定して下さい。  
寒冷地では柱の凍結破損防止の為、基礎に近い場所にφ5水抜穴を開けて下さい。
- 7 躯体の取付面及び穴開け加工をする場合は必ずコーキングで防水処理を施して下さい。
- 8 コンクリートに使用する砂に海砂は使用しないで下さい。  
海砂には塩分が多く含まれておりアルミを腐食させる原因となりますので使用する場合は真水でよく水洗いした後、使用下さい。
- 9 コンクリート（又はモルタル）には急結剤を絶対に使用しないで下さい。
- 10 ボルト、ビス類は、確実に締め付け、工事終了後に確認を行って下さい。
- 11 波板は、JISA5702(硬質塩化ビニール波板)に適合する32波板をご使用ください。
- 12 強風の吹く場所では屋根置き式バルコニーとの連結はしないで下さい。
- 13 組立時に付いたモルタル、油等の汚れは本体にキズを付けない様に拭き取って下さい。
- 14 組立終了後、取扱説明書に必要事項を記入し施工主様に必ずお渡し下さい。

# 梱包明細表

## 1.5KS

名 称	員数
前枠	1
垂木掛け	1
野縁	3
柱	2
垂木	3
側枠	2
部品セット	1

## 1.5KW

名 称	員数
前枠	1
垂木掛け	1
野縁	3
柱	1
垂木	3
前枠連結金具	1
部品セット	1

## 2.OKS

名 称	員数
前枠	1
垂木掛け	1
野縁	3
柱	2
垂木	4
側枠	2
部品セット	1

## 2.OKW

名 称	員数
前枠	1
垂木掛け	1
野縁	3
柱	1
垂木	4
前枠連結金具	1
部品セット	1

## 2.5KS

名 称	員数
前枠	1
垂木掛け	1
野縁	3
柱	3
垂木	5
側枠	2
部品セット	1

## 部品セット 1.5KS

名 称	員数
M6×60ボルト	6
M8×70ボルト	2
M6ナット	6
M8袋ナット	2
M4平座金	13
M6平座金	17
M8平座金	4
φ4×20タッピングビス	2
φ4×12先細タッピングビス	9
φ6×50コーチスクリュー	5
クサリ ℓ=2500	1
波板フック	33
φ8×150アンカー棒	2
M4ナット	2
φ4×8トラスビス	2
補強金具	2

## 部品セット 1.5KW

名 称	員数
M6×60ボルト	6
M6ナット	6
M8ナット	2
M4平座金	7
M6平座金	17
M8平座金	4
φ4×12先細タッピングビス	9
φ8×130寸切ボルト	1
φ6×50コーチスクリュー	5
クサリ ℓ=2500	1
波板フック	33
φ8×150アンカー棒	1

## 部品セット 2.OKS

名 称	員数
M6×60ボルト	8
M8×70ボルト	2
M6ナット	8
M8袋ナット	2
M4平座金	15
M6平座金	22
M8平座金	4
φ4×20タッピングビス	2
φ4×12先細タッピングビス	12
φ6×50コーチスクリュー	6
クサリ ℓ=2500	1
波板フック	39
φ8×150アンカー棒	2
M4ナット	2
φ4×8トラスビス	2
補強金具	2

# 梱包明細表

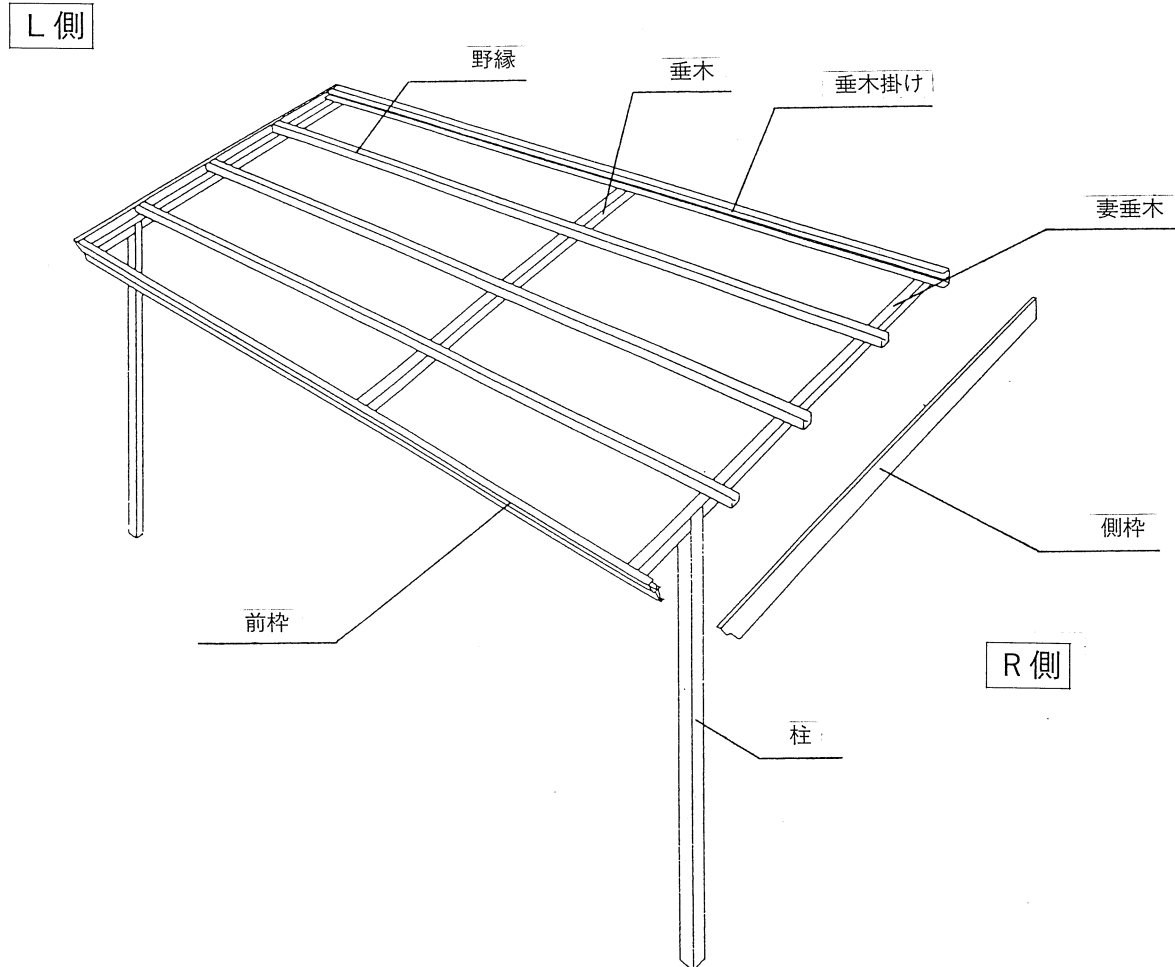
部品セット 2.0KW

名 称	員数
M6×60ボルト	8
M6ナット	8
M8ナット	2
M4平座金	9
M6平座金	22
M8平座金	4
φ4×12先細タッピングビス	12
φ8×130寸切ボルト	1
φ6×50コーチスクリュー	6
クサリ ℓ=2500	1
波板フック	39
φ8×150アンカー棒	1

部品セット 2.5K

名 称	員数
M6×60ボルト	10
M8×70ボルト	3
M6ナット	10
M8袋ナット	3
M4平座金	17
M6平座金	27
M8平座金	6
φ4×20タッピングビス	2
φ4×12先細タッピングビス	15
φ6×50コーチスクリュー	7
クサリ ℓ=2500	1
波板フック	51
φ8×150アンカー棒	3
M4ナット	2
φ4×8トラスビス	2
補強金具	2

## 各部名称



# 1. 垂木掛けの取り付け

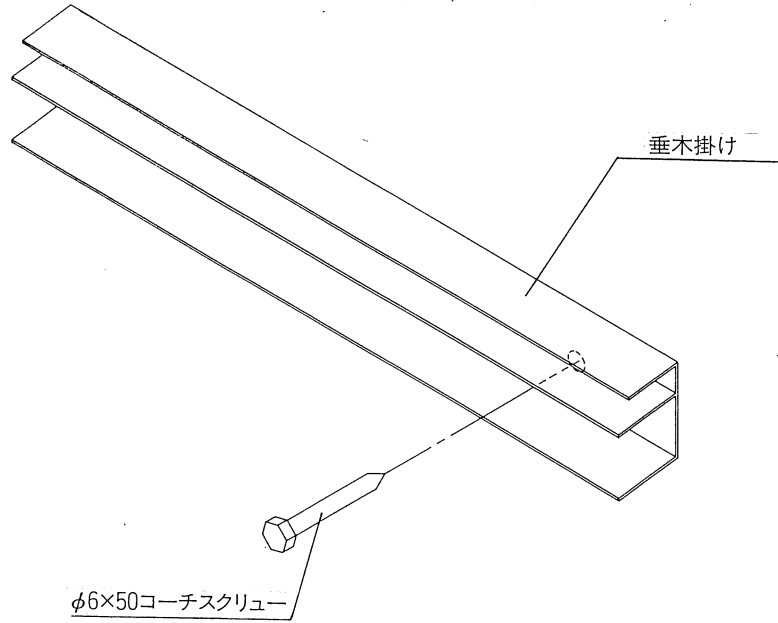
① 躯体に垂木掛けの位置を墨出し、 $\phi 6 \times 50$ コーチスクリューにて取り付けて下さい。

※ 垂木掛けにコーチスクリュー取付穴は、端部しかあいていませんので、中間部の取付穴は現場にて穴加工を行って下さい。

※ 躯体面と垂木掛けの隙間にコーキング処理を行って下さい。

(注意)

コーキングは本製品には含まれておりません。別途ご用意下さい。



# 2. 基礎部施工・基礎コンクリート

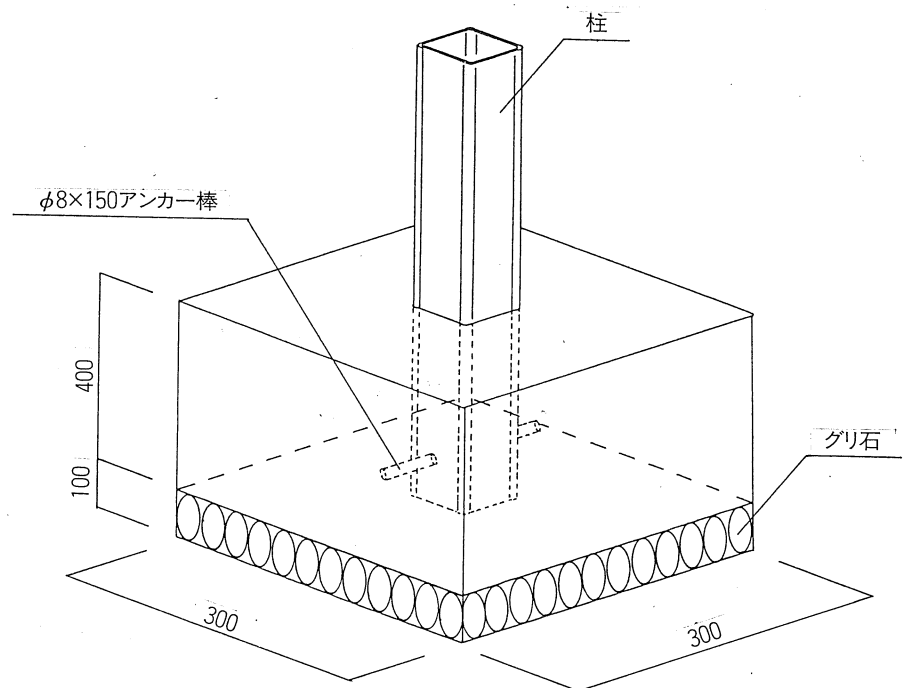
① 垂木掛けより、基礎位置を墨出しし、幅300mm以上、深さ400mm以上の基礎穴を掘って下さい。

② 割栗石を敷き積み、必ず突き固めて下さい。

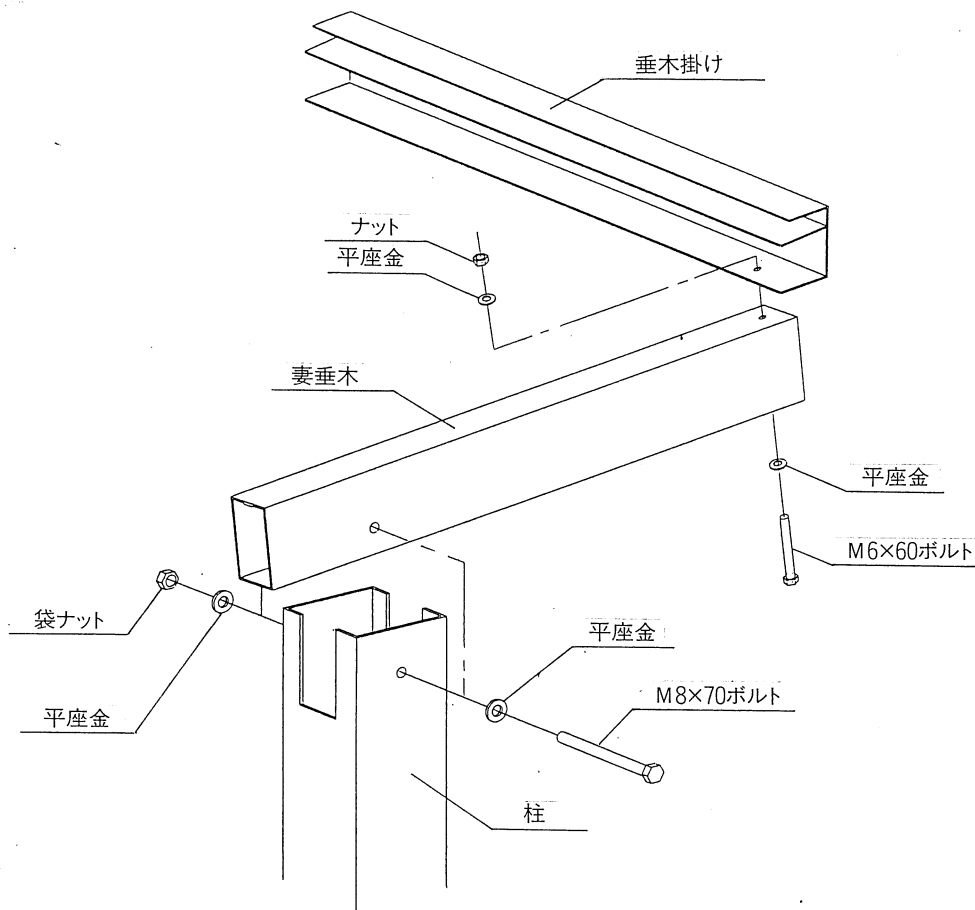
※ 地盤が軟弱な場所には、指定寸法以上の基礎穴を掘って下さい。

※ 基礎部のコンクリート施工は組立完了後に行って下さい。

※ 柱には必ずアンカー棒を取り付け柱方向を確認の上、取り付けを行って下さい。



### 3. 妻垂木・柱の取り付け

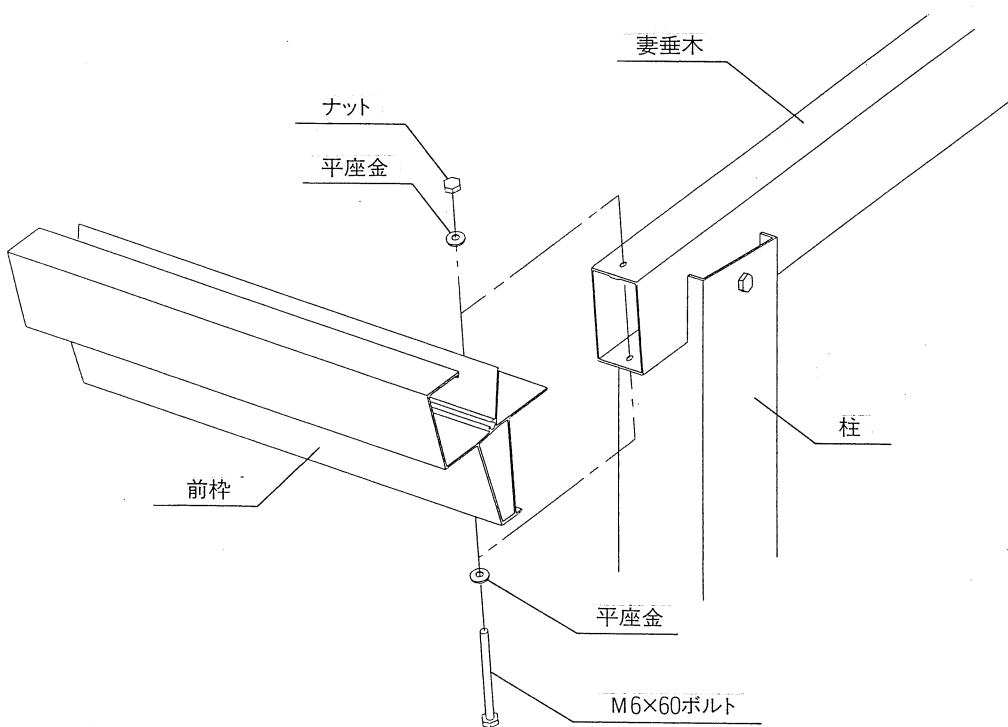


①垂木掛けに妻垂木をM6×60ボルトにて取り付けして下さい。

②妻垂木に柱をM8×70ボルトにて取り付けして下さい。

※ボルトの本締は柱の位置、屋根の角度調整後行って下さい。

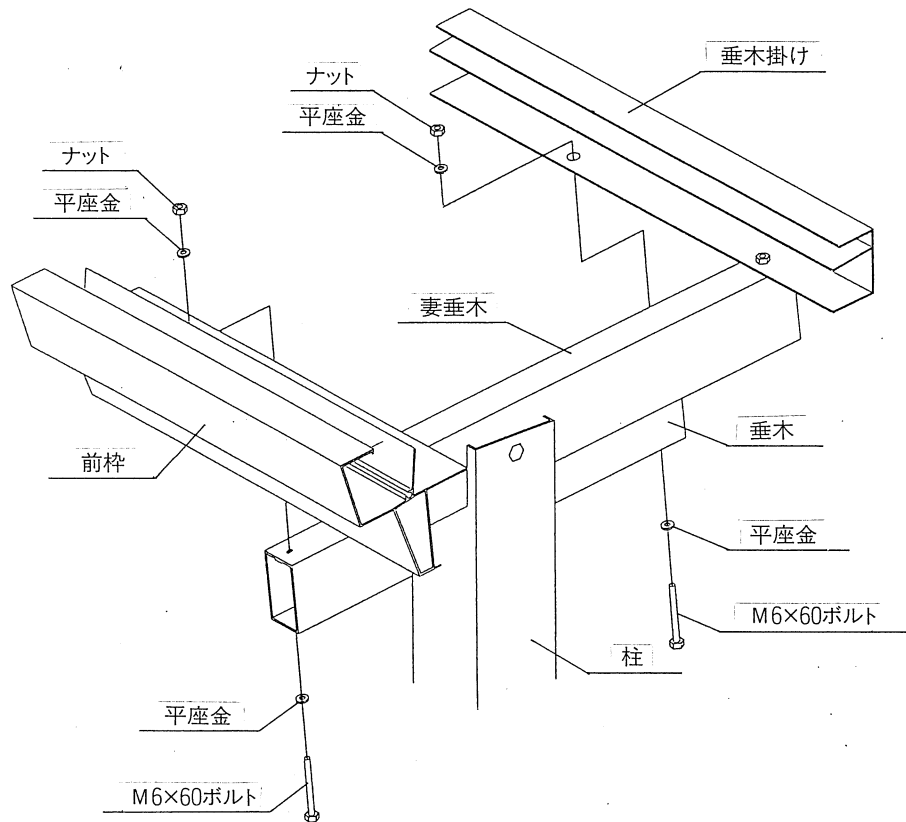
### 4. 前枠の取り付け



①妻垂木に前枠にM6×60ボルトにて取り付けして下さい。

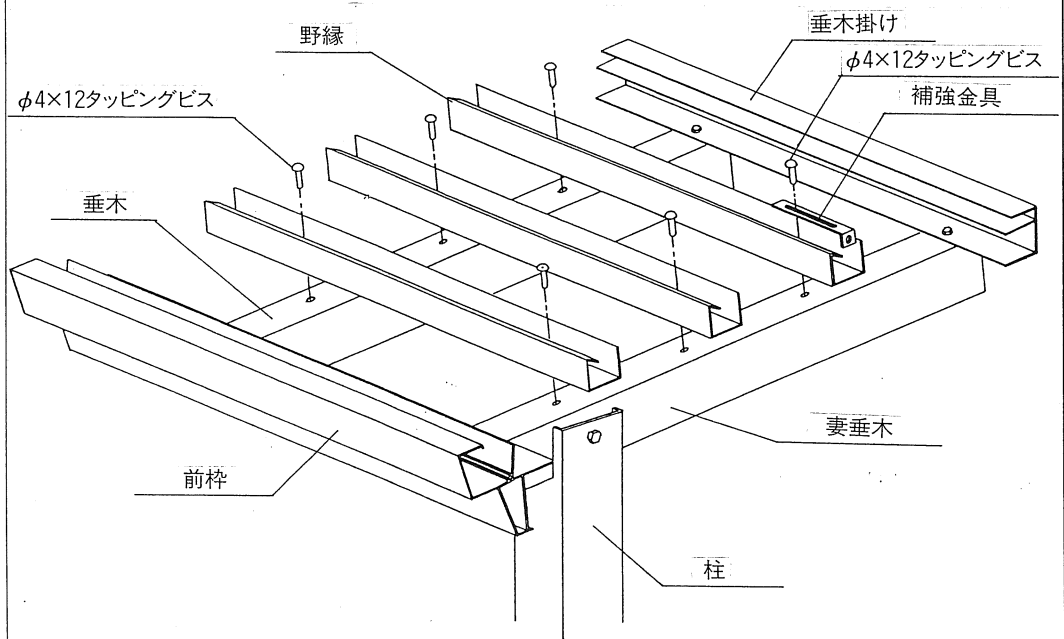
## 5. 垂木の取り付け

- ①垂木掛けに垂木をM6×60ボルトにて取り付けて下さい。
- ②前枠に垂木をM6×60ボルトにて取り付けて下さい。



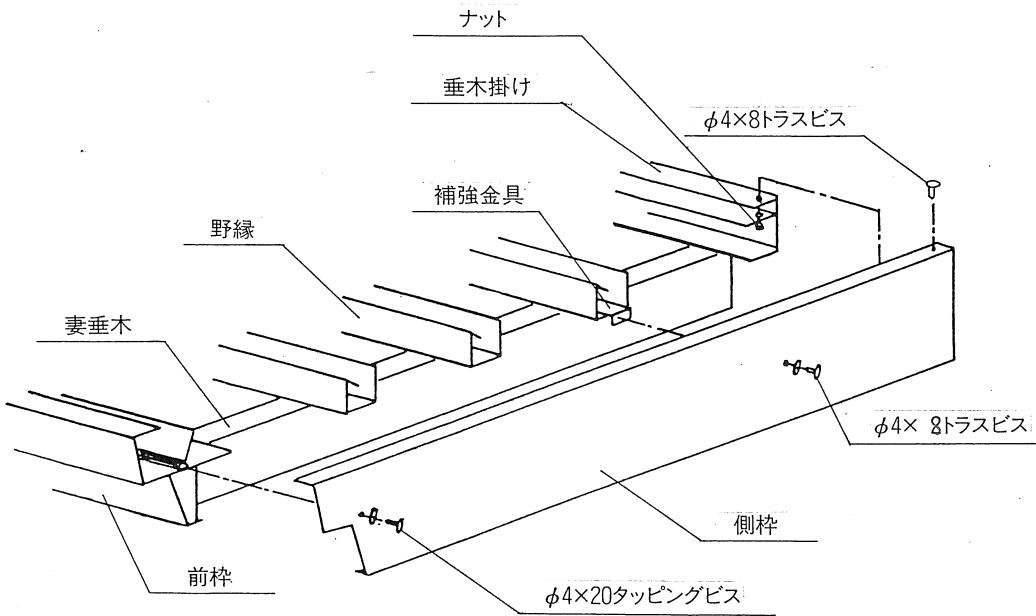
## 6. 野縁の取り付け

- ①垂木に野縁をφ4×12タッピングビスにて取り付けて下さい。
- ※野縁の取り付け方向を確認の上、取り付けて下さい。
- ②野縁に補強金具を右図の位置に野縁と一緒に取り付けて下さい。





## 7. 側枠の取り付け

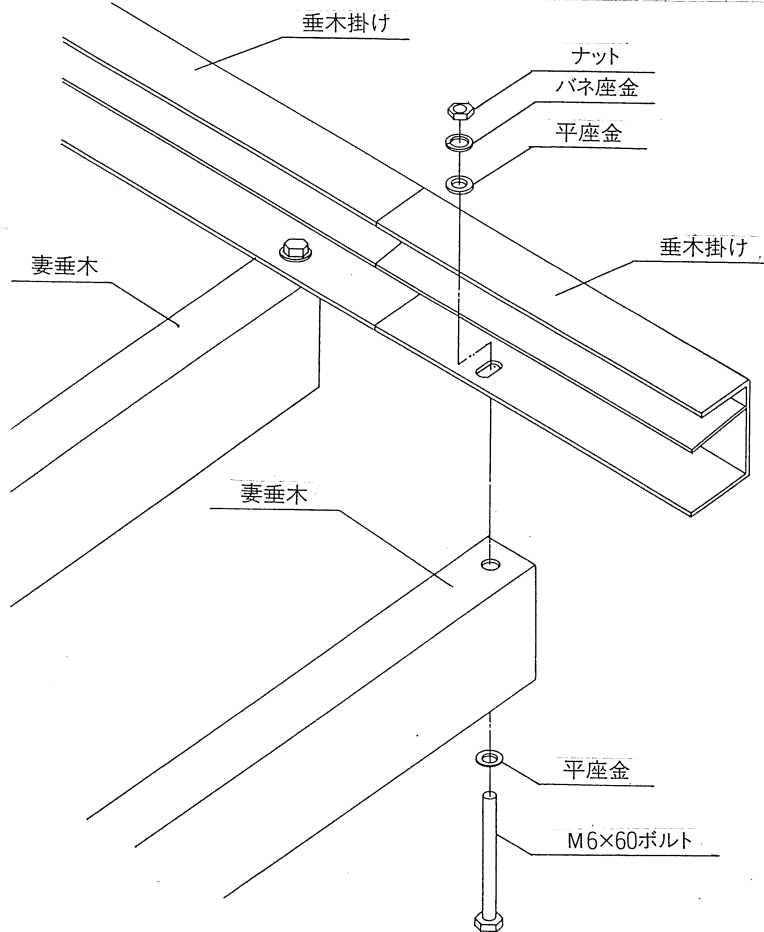


①側枠を垂木掛け、前枠野縁に取り付けた補強金具に指定されたビスにて取り付けして下さい。

※側枠を固定する際、各種のビス類がありますので、確認の上、取り付けを行って下さい。

## 連棟の組立て

### 1. 連結時の垂木掛けの取り付け

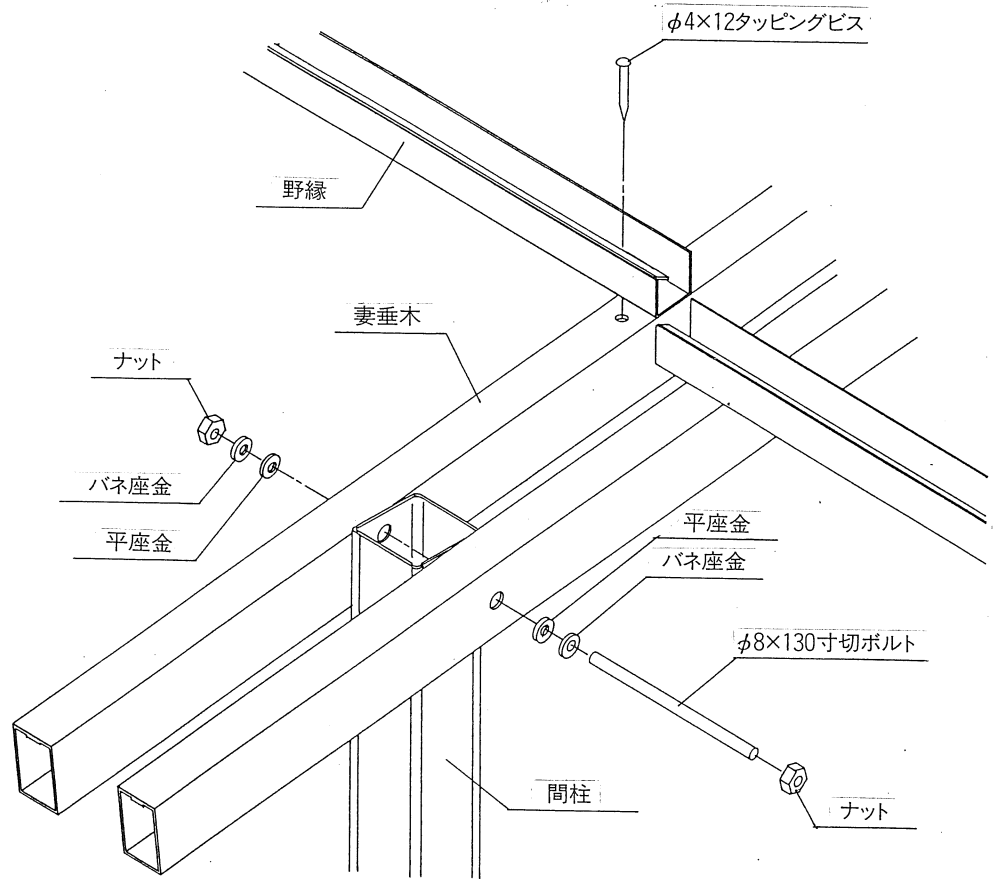


①垂木掛けを左図の様に躯体にφ6×50コーチスクリューにて取り付けして下さい。

②垂木掛けに妻垂木をM6×60ボルトにて取り付けして下さい。

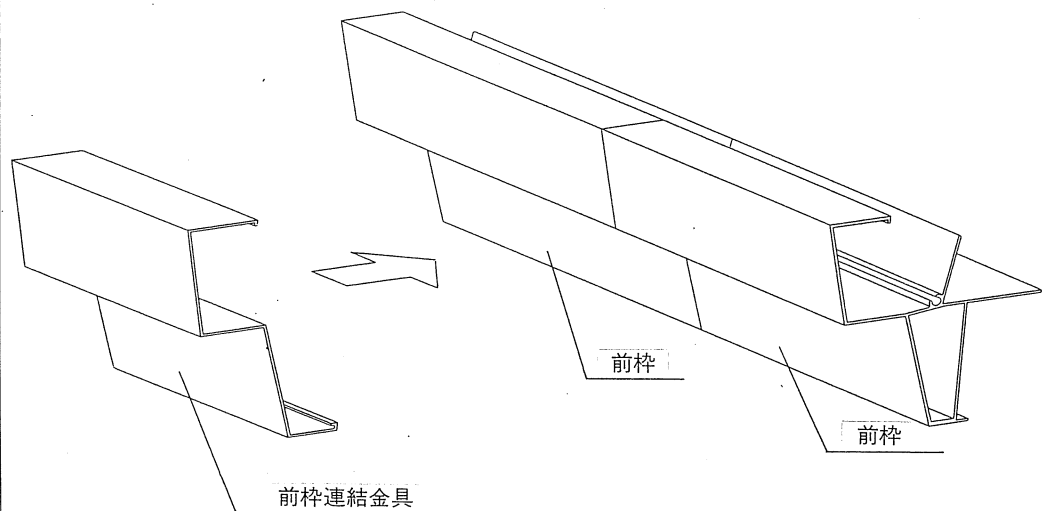
## 2. 間柱、野縁連結の取り付け

- ① 垂木掛けに取り付いた妻垂木に間柱をはさみ込み、 $\phi 8 \times 130$ 寸切ボルトにて取り付けして下さい。
- ② 妻垂木に野縁を $\phi 4 \times 12$ タッピングビスにて隙間のない様に取り付けて下さい。

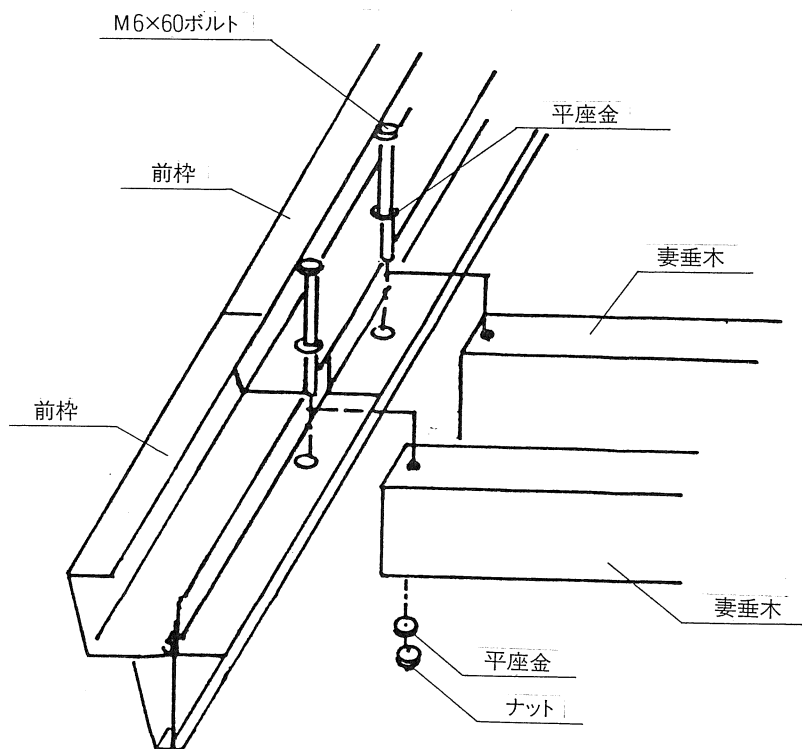


## 3. 前枠の連結のしかた

- ① 前枠の連結の際に、必ず前枠連結金具を取り付けて下さい。
- ※ 前枠連結金具は、前枠を取り付けてから、取り付けを行って下さい。



## 4.前枠連結の取り付け



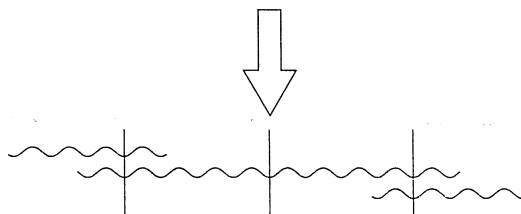
①妻垂木に隙間のない様に前枠をM6×60ボルトにて取り付けて下さい。

## 波板について

波板

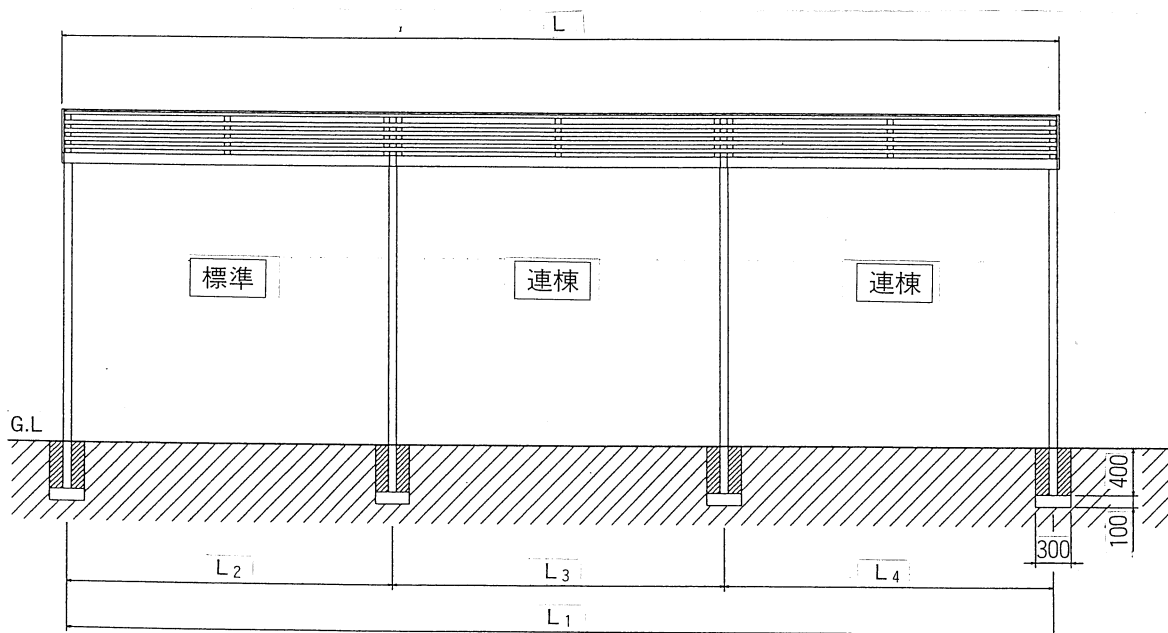
間口	L				
	1.5KS	1.5KW	2.0KS	2.0KW	2.5KS
寸法	2700	2700	3600	3600	4500
波板枚数	5	5	6	6	8
波板重ねしろ	4山		1山		3山

出幅	波板 W×D
18	655×1820



- ①波板は、ラベルの貼ってある方を上にして施工して下さい。
- ②波板の重ねしろは間口によって違います。表を参照の上、取付けて下さい。  
尚、最後の波板の重ねしろは現場にて調整して下さい。
- ③波板フックは波板1枚・野縁1本当たり3個止めて下さい。
- ④波板の納まりを確認してから波板にφ4の穴をあけ、波板フックにて止めて下さい。

# 連棟寸法表



間口寸法		L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	L <sub>4</sub>
3.0K	1.5KS(標準) + 1.5KW(連棟)	5400	2658.5	2658.5	—
3.5K	1.5KS(標準) + 2.0KW(連棟)	6300	2658.5	3558.5	—
4.0K	2.0KS(標準) + 2.0KW(連棟)	7200	3558.5	3558.5	—
4.5K	1.5KS(標準) + 1.5KW(連棟) + 1.5KW(連棟)	8100	2658.5	2700	2658.5
5.0K	1.5KS(標準) + 1.5KW(連棟) + 2.0KW(連棟)	9000	2658.5	2700	3558.5